



境内は柔らかな緑で一面が覆われ始め、自然の生命力を五感で感じられるとても良い季節になってまいりました。

さて、近年は高齢者の運転事故が際立っているようです。しかも大事故につながる例も多く、大きな社会問題ともなっています。私も今年、高齢者講習を受けてまいりましたが講義で繰り返し話に出たのは、「自覚を持って安全運転に心がけよ」ということでした。

「自覚」とは本来は仏教用語で、まさに「自らを覚る」ということなのでしょうが、一般的には「自分自身の置かれている状態や自分の価値を知ること」といったところでしょうか。

「他人のふり見て我が身を直せ」とは言われます。「他人のふり見て」がご縁となり、「我が身を直す」のが自覚となってくれば問題ないのですが、どこまでも他人事で「自覚」にはなっていないのはどうしてでしょう。たとえそれが生死に関わるご縁であったとしても、ご縁がご縁となっていないのです。私とは、ほんとうに厄介なものです。

親との手紙交流

樹林

私の郷里は、郡上八幡です。十八歳で岐阜に来て墨俣には昭和三十年から住むようになりました。当時は正月とお盆には里帰りするのが習わしでした。ある年のお盆に帰った時、母親が言うには「兎明は何も言っておきよ、どうしてこんなにかさばりわからんぞ」と郡上弁で言うので、当時は横着でしたから「便りがないのが元気の証拠、心配せんでもええわ」と平気で聞き流しておりました。

その後、あるセミナーで親孝行のお話を聞きました。それによると「親孝行の要諦は、親に安心を与えること」でした。「これを聴いて、これまでの身勝手さを深く反省することになりました。そこで一念発起して、毎月手紙を書こうと決意しました。当時、夫婦と子供二人の四人家族でしたので、この際、家族四人でそれぞれ手紙を書いて一つの封筒に入れて出そうということになり、昭和五十四年春、第一信を送りました。まもなく折り返し、母親から返事がきました。文面の中で印象に残ったのは次のような一節でした。みなさんのやさしいお心使いに思わず涙がこぼれました。お仏壇にお供えてご先祖様にも読んでいただきました。そのころ子供は小学校四年生と二年生でしたが、学校のこと、お友達のことなど、こまめに手紙を書いてくれました。妻は家庭のこと、近所付き合ひのことが話題になり、自分は主に仕事のことを伝えました。母親からは四人それぞれに便せん一〜二枚書いて同封してくれました。長女は全寮制の高校に進学いたしました。引き続き寮から手紙を書き送ってくれました。

お盆に返るころになると母親は、口癖のように「おかげと墨俣のことは、何から何までようわかる」と喜んでくれました。昭和から平成になっても手紙の交流は続きましたが、平成十年になると母親が手がふるって字が書きにくくなったと申しますので、無理をしなくても、平成十年を境に、手紙の交流は区切りとしました。母親は九十歳まで手紙を書いてくれたことになりましたが、平成十三年に九十三歳でこの世を去りました。

昭和五十四年から平成十年まで、二十年にわたって手紙の交流が続いたことになりました。我が家には、母親からの手紙が沢山保存されていますが、今後、家宝として末永く子孫にも受け継がれるよう願っています。



家宝となった手紙

報徳会勤まる。墨俣 等覚寺にて

毎年4月14日〜15日の両日、安八墨俣 日置江の寺院19ヶ寺が回り順で教如上人のご遺徳をしのび、法要を勤めている。

いわゆる十日講も、毎月回り順で毎月勤めているが、年に一度、報徳会として勤められているのである。

今月の掲示板

またひとつくじった。
しくじるたびに
目があいて
世の中すこし広くなる



榎本栄一

60歳を過ぎたころから「浄土真宗の信心の目に映る風光を詩に託して表現されだした。明治36年10月兵庫県淡路島生まれ。平成十年に九十四歳で亡くなられた念仏者で、詩人。



等覚寺本堂余間

教如上人

親鸞聖人より第十一世顕如上人の長子。

家康の天下統一の功労として、家康より現在の**東本願寺の開祖**として迎え入れられた。

十手組

・関が原合戦のころ、石田三成の軍から十五ヶ村、二十ヶ寺の門徒たちが「王の手」のまま教如上人を守護し、無事京都までお供をしたという功績がある。

光受寺

は2021年4月の勤修となります。来年には具体的な準備に取り掛かりたいと思いますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

光受寺学習会のご案内 五月十一日(土)七時より

若院法話・小乗仏教と大乘仏教

お茶をいただきながら座談会

「厄い」な英語混じりの日本語。

インスタ映え(インスタ映え)って何?

最近では「インスタ映え」という言葉を老いも若きもやたらと使っているが、2017年に生涯学習のユーキャンの調査で新語流行語大賞を獲得した言葉であるという。しかし「インスタ」って何?改めて考えてみるとわからなくなる人も結構多いのではないだろうか。

インスタント テレグラムを略し、**インスタグラム**になった 造語「新しく作った言葉」なのだそうだが、インスタントは即席、「テレグラム」は電報という意味を持っていることから、さらに略して**インスタ**ということなのだと思われる。

つまり写真その場でインスタントカメラのように手軽に撮影し、電報のように相手に知らせ、多くの人も共有することができるというわけだ。

結論。調べてみたのだが、説明そのものが専門用語で、しかも英語交じりだったことから、ちんぷんかんぷんでよくわからなかった。

「インスタ映え」。まあ、**見栄えの良い写真**を「インスタ映え」おぼえはよいかと思いた。